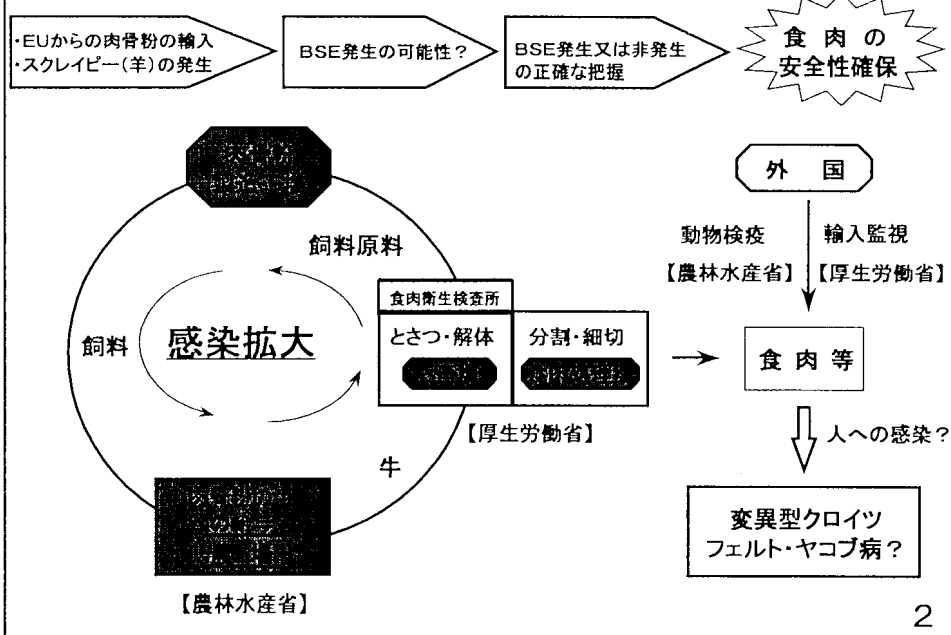


牛肉の安全対策について

厚生労働省医薬食品局
食 品 安 全 部

1

BSE 問題の概要



2

国産牛BSE確認までの厚生労働省の対策

- 平成 8年 3月：英国産牛肉・牛肉加工品の輸入中止
- 平成 8年 4月：と畜場法の検査対象疾病に指定
- 平成12年12月：EU諸国等からの牛肉・牛肉加工品の輸入中止
- 平成13年 5月：国産牛及び羊のウエスタンプロット法によるTSEサーベイランス開始

3

国産牛のBSE確認に伴う対策

平成13年

- 10月18日～：と畜場においてと畜解体される牛の全頭検査
- 10月18日～：特定部位の除去、焼却の義務づけ
- 10月 5日～：牛由来原料を含む食品の特定部位含有に関する自主点検

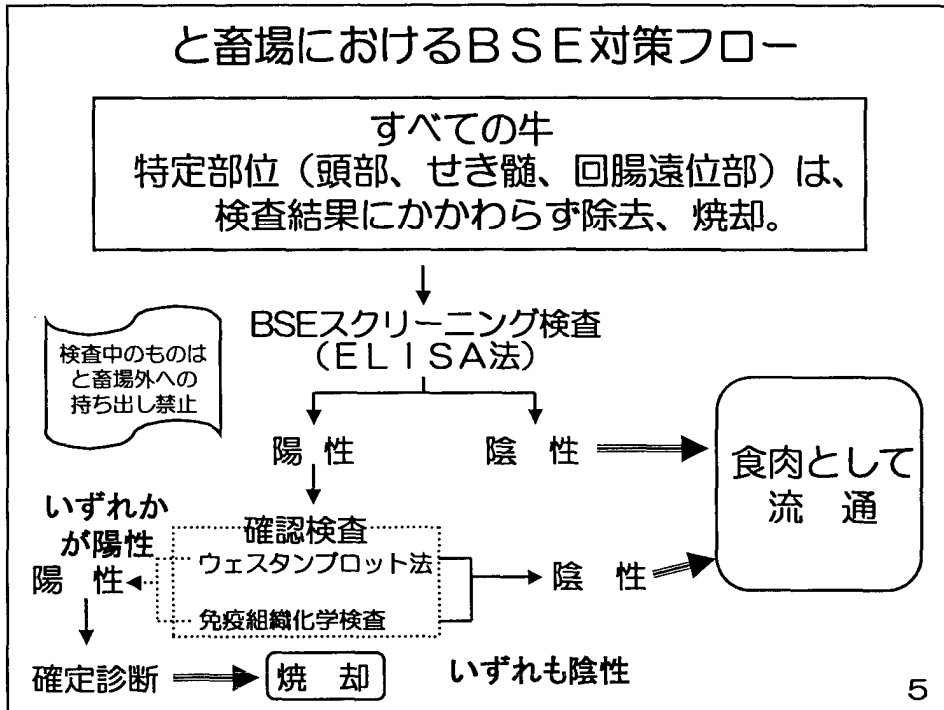
(平成15年 7月：食品安全委員会設置)

平成16年

- 2月16日～：BSE発生国の牛せき柱の食品への使用禁止
- 2月 ~：我が国のBSE対策について、食品安全委員会において中立的立場から科学的な評価・検証を開始

4

と畜場におけるBSE対策フロー



と畜場におけるBSE検査状況

	検査頭数	陽性頭数
平成13年度	523,591	2
平成14年度	1,253,811	4
平成15年度	1,252,630	3
平成16年度 (7月末まで)	421,120	0

※ 平成13年9月に千葉県で確認された1例目及び死亡牛検査で確認された1例を含め、国内では11頭がBSEとして確認。

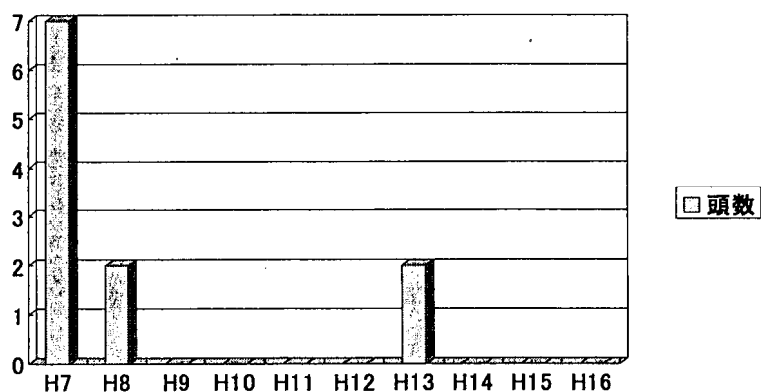
6

BSE 確認状況について

	確認年月日	出生年月日	月 齢	品 種 (性 別)
1	H13. 9. 10.	H 8. 3. 26.	64	ホルスタイン種 (雌)
2	H13. 11. 21.	H 8. 4. 4.	67	ホルスタイン種 (雌)
3	H13. 12. 2.	H 8. 3. 26.	68	ホルスタイン種 (雌)
4	H14. 5. 13.	H 8. 3. 23.	73	ホルスタイン種 (雌)
5	H14. 8. 23.	H 7. 12. 5.	80	ホルスタイン種 (雌)
6	H15. 1. 20.	H 8. 2. 10.	83	ホルスタイン種 (雌)
7	H15. 1. 23.	H 8. 3. 28.	81	ホルスタイン種 (雌)
8	H15. 10. 6.	H13. 10. 13.	23	ホルスタイン種 (去勢)
9	H15. 11. 4.	H14. 1. 13.	21	ホルスタイン種 (去勢)
10	H16. 2. 22.	H 8. 3. 17.	95	ホルスタイン種 (雌)
11	H16. 3. 9.	H 8. 4. 8.	94	ホルスタイン種 (雌)

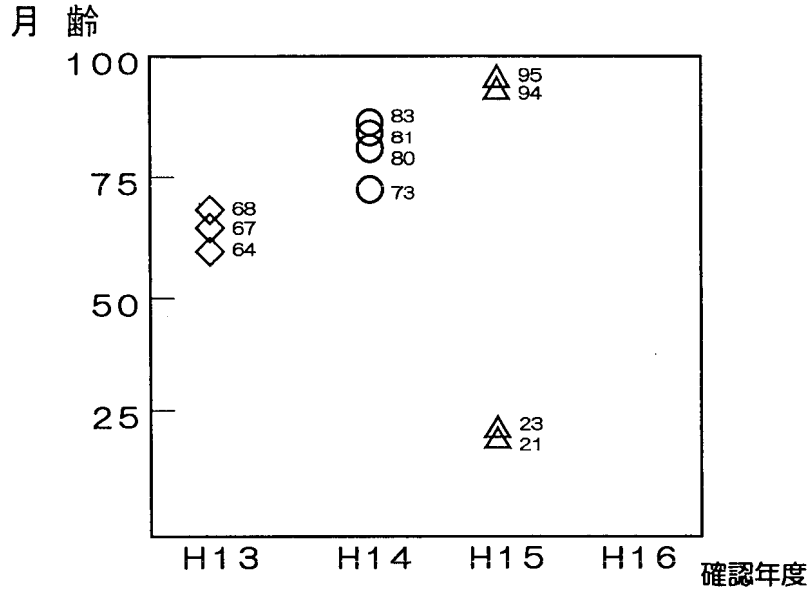
7

BSE 感染牛の出生年度分布



8

BSE感染牛の月齢分布



9

各国のと畜場におけるBSE検査体制

	日 本	米 国	E U
目 的	食肉検査	サーベイランス	サーベイランス ／食肉検査
健康牛	すべて	30ヶ月齢以上 2万頭	30ヶ月齢以上
リスク牛	すべて	今後1～1.5年 間に農場段階を 含め30ヶ月齢 以上のリスク牛 20～27万頭を 検査	24ヶ月齢以上
備 考	農場段階におい て24ヶ月齢以 上の死亡牛につ いても検査		農場段階におい て24ヶ月齢以 上の死亡牛等の リスク牛につい ても検査

10

各国の特定危険部位の範囲

特定危険部位の種類	日本	米国	E U
頭蓋	全月齢の頭部 (舌・頬肉を除く)	30ヶ月齢以上 (脳、眼、三叉神経節を含む)	12ヶ月齢以上 (下顎を除き、脳、眼を含む)
扁桃		全月齢	全月齢
せき髄	全月齢	30ヶ月齢以上	12ヶ月齢以上
せき柱(背根神経節を含む)	全月齢	30ヶ月齢以上	12ヶ月齢以上
腸	全月齢の回腸遠位部	全月齢の小腸	全月齢の腸・腸間膜

11

輸 入 食 品 対 策

BSE発生国からの牛由来製品(乳及び乳製品を除く食品、食品添加物)の輸入停止

【対象国：24ヶ国】

ベルギー、ドイツ、フランス、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、デンマーク、アイルランド、英国、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、フィンランド、オーストリア、スウェーデン、スイス、リヒテンシュタイン、チェコ、スロヴァキア、スロヴェニア、ポーランド、イスラエル、カナダ、米国

12